

東小学校区

「フリーテーマ」

佐倉 3 区

Q：他の市町よりも教育への財政的な支援に力を入れているように感じ、うれしく思う。すぐに効果が出ることはないが、継続的に厚い支援をしてほしい。

小学校区単位という大きい単位でタウンミーティングを行うからには、人が集まる工夫をしてほしい。回覧だけではなく PR の方法を考えてほしい。人が多く集まれば、もっと有意義なものになる。

比木

Q： サポート隊として小学校の門の前に立ってみて、子どもたちの元気がないことに驚いた。教員の中にもあいさつせずに行ってしまう人がいる。

寝たきりや重病の方が 20 日くらいでたいらまわしにされ、転院先を見つけるのに苦勞するという話を聞く。儲けがないからたらいまわしでは情けない。今後の対応を検討してほしい。

A： あいさつは人と人の心の結束であり、教育委員会でも力を入れている。東小学校だけでなく、市全体の問題として、来月の校長会で真摯に検討していきたい。教員にも厳しく指導していく。御前崎市全体に元気な子どものあいさつが響くようにしていきたい。

個々の状況を確認してみないとわからないが、御前崎市立病院は基本的に長く居ることができる病院だと思う。

急性期医療は国の政策。全体の平均で 21 日以上患者が居ると看護基準を下げると脅されてしまうため、どの急性期病院も全体の平均を 21 日以内にしようとする。そのため、御前崎病院では自宅へ帰れる人は老人保健施設でのショートステイや、訪問看護ステーションを利用してもらうなどで支えようとしている。介護型の療養病床も利用してもらえばいいが、看護師不足のため 54 床の 9 割しか埋めることができない。患者の状態、お宅の状況により違ってくる。難しい問題。慢性期までみることができれば一番良いが、急性期の病院では難しい。しかし、御前崎病院は他から比べると地域でお年寄りをみることができる状況にある。

佐倉 1 区

Q： 池高の北、朝比奈へ行く道や比木へ入る道、市役所へ行く道など道路がわかりにくい。案内標識を充実してほしい。

観光面ではクエ、焼酎など新しい商品に期待する。今後も発展させてほしい。焼酎は、

遊休農地利活用の面からもっと考える必要があり、量的にも増やしていかないといけない。今後、地元でも醸造していってもらえればいい。焼酎以外でのさつまいもの遊休農地利活用を色々と考えていってもらいたい。

市の木を産物として利用できないか。九州ではヤマモモワインがあるという。被砂防止林として松だけでなくヤマモモを使用しながら活用してはどうか。椿の油を土産物としてしているところもある。地元で作れるものを産物にしていけば、地元の農業や商業が潤うだろう。観光客は特徴がなければ物足りなくなってしまう。楽しめる・遊べる観光が必要。色々なアイデアを出して、試してみた上で結論をだしてほしい。

A： 道についてはわかりにくい。県道であるため、県へ働きかけをしていくとともに、市としてできる範囲のことをしていきたい。観光客がカーナビゲーションに頼ることなく、スムーズに事故なく走ることができる道路にしていきたい。

遊休農地の活用は第一歩を踏み出したと。芋に関しては、現在中遠調理師学校の松井先生にご協力いただき、芋のてんぷらなど様々なものを作ってもらっている。これが起爆剤となり、特産品開発につながることを期待している。

ヤマモモのワインはユニークなので、声をかけていきたい。椿の油は灯台を守る会の方が作っている。今後、大きく広げていけるよう市として援助していきたい。

農地を活かした観光は、砂地試験場の払い下げの話がでており、議会とも話を詰めて購入したいと思っている。体験型農業と絡めて、市の農業観光の拠点として活用できればと考えている。まとめ次第、皆さまにお願いをしていきたい。

意見：長野に行ったら、現地の特産品を活かしているところが多くあって参考になった。御前崎でもいい芽がでればと思っている。

上比木

Q：佐倉公民館多目的ホールが立派にできた。比木の公民館も老朽化が進んでおり、30年くらいたっていると思う。建て直しを検討しているか。

A：佐倉地区の方には応分負担をしてもらった。議会でも、市の施設を地元が負担をするのはおかしいという話があった。しかし、1つのエリアで大きなものを運営するには、ある程度分けられた金額でもあったため、議会でも納得していただいた。

比木の公民館も市全体からみれば建て直しの時期にきているのかも知れない。耐震性や経年劣化の時期がきたら、市全体で順序を定め、中期、長期的な計画の中で実施したい。現段階では比木公民館を建て替えるとは言えない。